TESCOM

家庭用

真空ジュースミキサー

品番：TMV1000

取扱説明書

保証書付き

保証書は、裏表紙に付いております。
販売店にて必ず記入を受け、大切に保管してください。

お買い上げありがとうございました。
ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

もくじ

安全上のご注意…… 1〜4
各部のなまえとはたらき …… 5〜6

組み立てかた・外しかた… 7〜10
使いかた……11〜15
エラーお知らせについて……15

お手入れのしかた……16

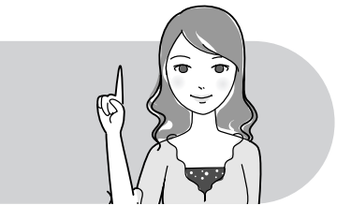
故障かな?と思ったら …… 17

仕様 …… 17
アフターサービス…… 18
保証書……裏表紙

真空ジュースミキサーについて

従来のジュースミキサーでは、材料のかくはん時に空気が多く混入し、作ったジュースなどが酸化していました。
これに対し、真空ジュースミキサーでは、材料のかくはん前に空気を抜くことで初期酸化を抑え、酸化の進行を遅らせることができます。
また、真空ミキサー機能で作ったものを真空保存することで、より酸化を抑えて新鮮さを維持することができます。（真空保存に滅菌作用はありませんので、冷蔵庫で保管の上できるだけ早くお飲みください。）

**※通常のミキサー機能で作ったジュースなどを真空保存しても、酸化を抑えられません。
また、かくはん時に混入した空気（泡）が膨張して故障の原因となりますので、通常のミキサー機能で作ったジュースなどは絶対に真空保存しないでください。**



安全上のご注意

●ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産の損害を未然に防ぐためのものです。必ずお守りください。
●注意事項は次のように区分しています。

⚠危険
誤った扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫度合いが高いと想定される内容を示します。

⚠警告
誤った扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠注意
誤った扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

絵表示の例

記号は、「してはいけないこと」の内容をお知らせするものです。

（左図の場合は分解禁止）

記号は、「しなければならないこと（強制）」の内容をお知らせするものです。

（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠警告

禁止

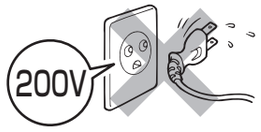
長期間の使用や誤使用により、電源コードが断線する恐れがあるため、次の状態が確認されたときは使わない。

- **使用中、動いたり止まったりする**
- **電源コードがねじれて戻らなくなった**
- **電源コードの根元部分が変形・傷んでいる**
- **コンセントの差し込みがゆるい**

火災・感電・やけど・ショートの恐れがあります。

交流100V以外で使わない。（日本国内専用）

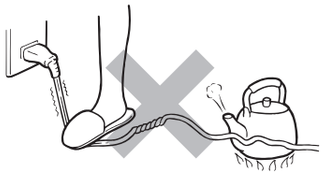
発火する恐れがあります。



電源コードは下記のように扱わない。

- **無理に曲げない**
- **ねじらない**
- **引っ張らない**
- **重いものをのせない**
- **熱いものに近付けない**
- **はさみ込まない**
- **加工しない**
- **束ねたまま使用しない**

火災・感電の恐れがあります。



禁止

子供だけで使わせない。幼児の手の届く所で使わない。

子供や幼児がけがをする恐れがあります。

梱包のポリ袋は乳幼児の手が届く場所に置かない。

頭からかぶるなどをすると口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

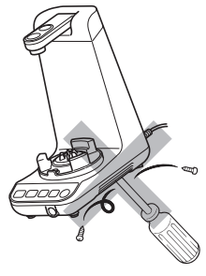
電源プラグカバー・取り外した部品を幼児の手が届く場所に置かない。

誤飲の恐れがあります。

分解禁止

修理技術者以外は、絶対に分解・修理・改造をしない。

発火・感電の恐れがあります。



水場禁止

**本体を水につけない。
本体に水をかけない。
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない。**

感電の恐れがあります。

⚠注意

必ず守る

1回使用するごとに、インナーキャップのお手入れをする。（16ページ参照）

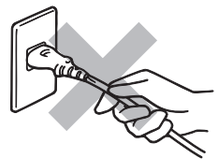
本製品が故障する恐れがあります。

電源が切れていることを確認してから、電源プラグを抜き差しする。

けがをする恐れがあります。

コンセントから電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜く。

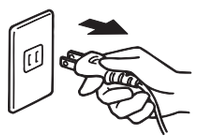
電源プラグを傷める恐れがあります。



電源プラグを抜く

使用後やお手入れをするときは、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておく。

けがをする恐れがあります。



禁 止

カッターは鋭利なので直接手で触れない。

けがをする恐れがあります。

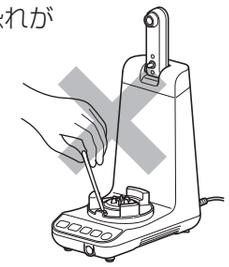
ミキサーボトルの中に指・金属製のスプーンなどを入れない。

けが・故障の恐れがあります。

禁 止

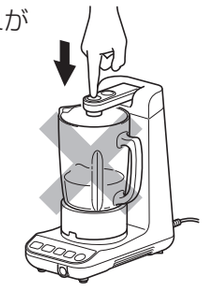
安全スイッチ・安全スイッチピンを直接、指・棒などで絶対に押さない。

けが・故障の恐れがあります。



フタをしたボトル部を取り付けていない状態で、真空アームを上から押さない。

故障・事故の恐れがあります。

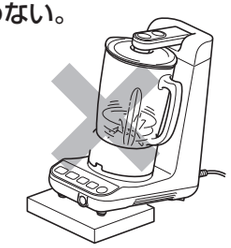


動作中に移動させない。

けがをする恐れがあります。

不安定な所では使わない。

けがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。



禁 止

40℃以上の材料は各ボトルに入れない。

ボトルが割れてけがをしたり、本製品が故障する恐れがあります。

材料が多すぎたり、その他の原因で動作が止まったときは、そのままの状態で使わない。

本製品が破損する恐れがあります。

空回ししない。最少量より少ない材料で使わない。

本製品が破損する恐れがあります。

最大目盛りを超える量の材料を入れない。

〈定格容量〉
ミキサーボトル：780ml
ジュースボトル：780ml

本製品が故障する恐れがあります。

調理以外の目的では使わない。

本製品が破損する恐れがあります。

本製品は家庭用なので、業務用として使わない。

禁 止

使えない材料を入れない。（11ページ参照）

本製品が破損する恐れがあります。

食洗機・食器乾燥機は使わない。

本製品が破損する恐れがあります。

定格時間を超えて連続運転しない。（次の動作まで指定の時間以上休ませる）（12～14ページ参照）

本製品が故障する恐れがあります。

付属のボトル・部品以外は使用しない。

真空ミキサー機能で作ったジュース・付属のレシピブック掲載のスープ以外を真空保存しない。

本製品が故障する恐れがあります。

必ず守る

ジュースボトルで真空保存するときは、必ず冷蔵庫で保存する。冷凍庫に入れて保存しない。

殺菌作用はありません。
保存には十分注意してください。

※安全上のご注意のイラストは実際の商品とは異なります。

各部のなまえとはたらき

「※」の付いた部品はお取り寄せできます。お買い上げ販売店、または弊社「お客様ご相談窓口」へお問い合わせください。（18ページ参照）

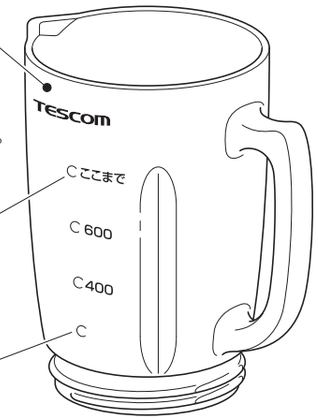
ミキサーボトル部

ジュース・スープ作りや、氷を砕くときに使います。（11～13・15ページ参照）

ミキサーボトルフタ部

- **ミキサーフタ※**
- **ミキサーフタパッキン※**
  取り外してお手入れをしてください。
- **インナーキャップパッキン※**
- **インナーキャップ※**

ミキサーボトル※
液体を加えた材料を最少目盛以上、最大目盛以下にしてください。故障の恐れがあります。



ミキサーボトルパッキン※
あらかじめボトル台に取り付けられています。

ボトル台※
ボトル台の裏面は防水ではありませんので、ぬらさないでください。

- **カッター**
- **取り付けガイド**
- **安全スイッチピン**
  安全スイッチピンまわりに食材などがつまると、取りつけエラーとなります（14ページ参照）。こまめにお手入れをしてください。

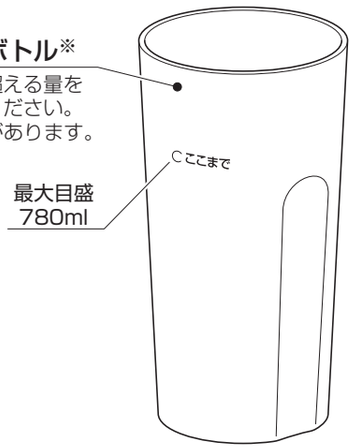
ジュースボトル部

本製品で作ったジュースなどの保存に使います。（14ページ参照）

ジュースボトルフタ部

- **ジュースボトルフタ※**
- **ジュースボトルフタパッキン※**
  取り外してお手入れをしてください。
- **フタバルブ※**
  取り外してお手入れをしてください。
- **逆止弁パッキン※**
- **逆止弁※**
- **インナーキャップパッキン※**
- **インナーキャップ※**

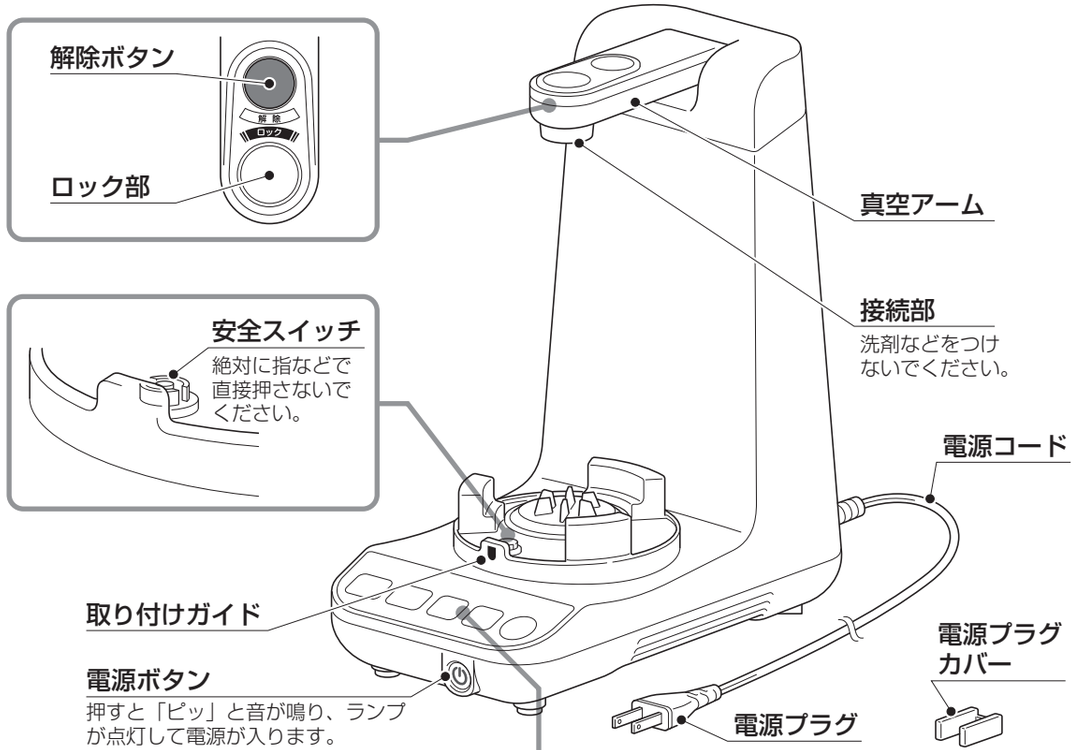
ジュースボトル※
最大目盛を超える量を入れないでください。故障の恐れがあります。



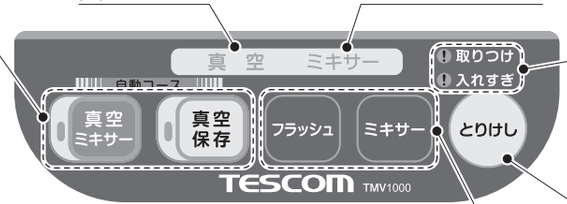
へラつきブラシ※

材料を取り出したり、お手入れをするときに使います。

本　体



操作パネル



レシピブック※

本製品を使用して作ることができるジュース・スープのメニューを紹介しています。
※記載された分量を守ってください。

組み立てかた・外しかた

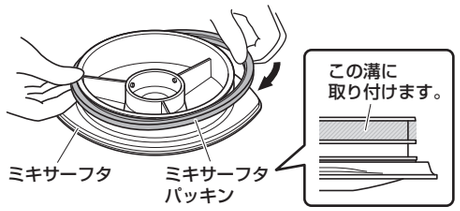
ご注意

- 各パッキンはしっかりと取り付ける。
- フタパッキンを間違えない。
  黒色：ミキサーフタパッキン
  灰色：ジュースボトルフタパッキン
  （インナーキャップパッキンは共通です）
- 必ずインナーキャップを取り付ける。
  本製品が破損する恐れがあります。
- ボトル台のカッターには直接触れない。
  けがの恐れがあります。
- 各ボトルとフタの間にすき間ができないように、フタをしっかりと取り付ける。

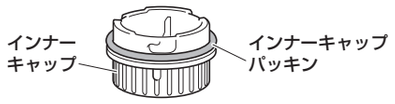
ミキサーボトル部の組み立てかた

1 ミキサーボトルフタ部を組み立てる。

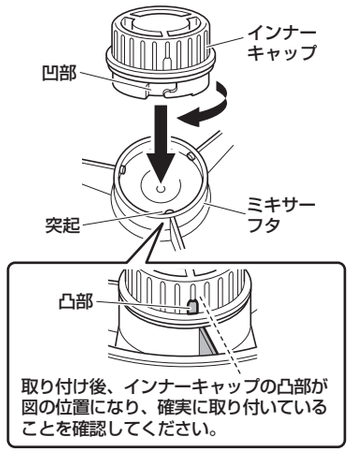
①ミキサーフタの溝にミキサーフタパッキンを取り付けます。



②インナーキャップにインナーキャップパッキンを取り付けます。



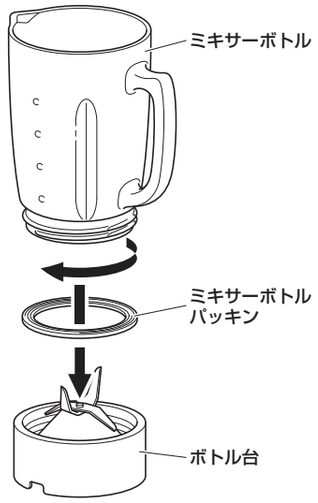
③インナーキャップの凹部をミキサーフタの突起に合わせてはめ込み、図の矢印の方向に回して取り付けます。



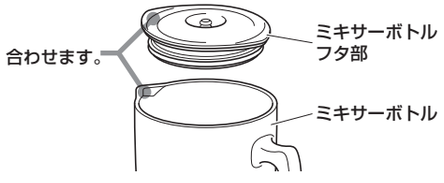
2 ミキサーボトルをボトル台に取り付ける。

①ボトル台にミキサーボトルパッキンを取り付けます。

②ミキサーボトルをボトル台にはめ、図の矢印の方向に回して取り付けます。



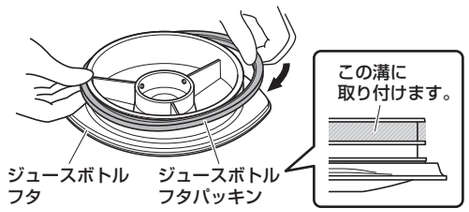
3 ミキサーボトルに材料を入れ（11～13ページ参照）、ミキサーボトルとミキサーボトルフタ部の形を合わせてしっかりとはめる。



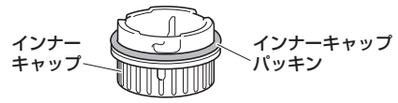
ジュースボトル部の組み立てかた

1 ジュースボトルフタ部を組み立てる。

①ジュースボトルフタの溝にジュースボトルフタパッキンを取り付けます。

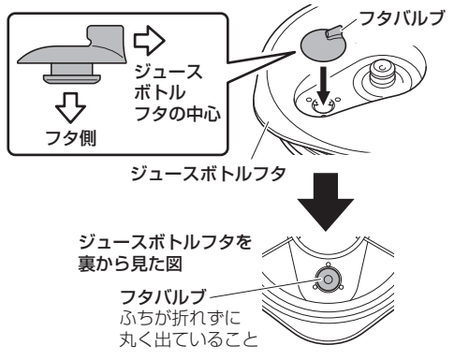


②インナーキャップにインナーキャップパッキンを取り付けます。

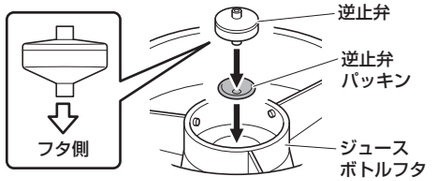


③フタバルブをジュースボトルフタの取り付け部に押し込んで取り付けます。

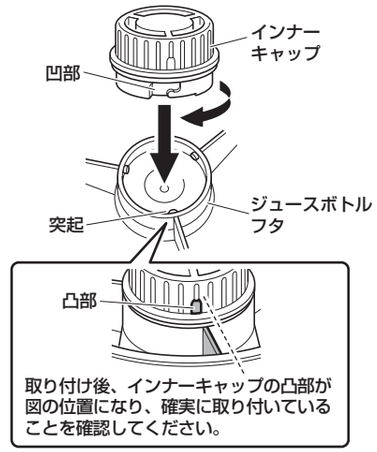
- フタバルブの上下向きに注意してください。



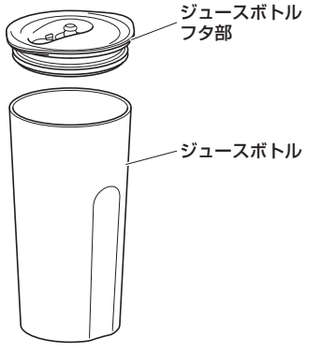
④逆止弁に逆止弁パッキンをはめ、突起部をジュースボトルフタ中央の穴に合わせて差し込みます。



⑤インナーキャップの凹部をジュースボトルフタの突起に合わせてはめ込み、図の矢印の方向に回して取り付けます。



2 ジュースボトルに本製品で作ったジュースなどを入れ、ジュースボトルフタ部をしっかりとはめる。



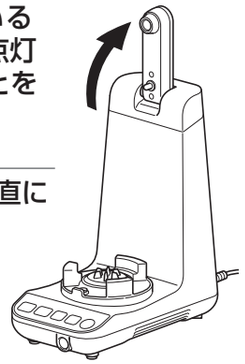
組み立てかた・外しかた

各ボトルの取り付け・取り外しをするときは、必ず真空アームを立ててください。
真空アームにボトルなどをぶつけると、故障する恐れがあります。

本体への取り付けかた

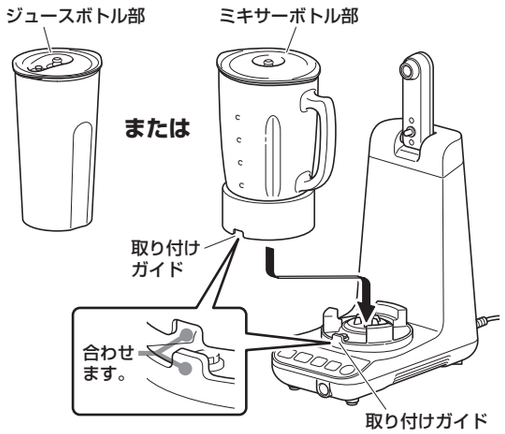
1 電源が切れている（電源ボタンが点灯していない）ことを確認する。

2 真空アームを垂直に立てる。



3 ミキサーボトル部またはジュースボトル部を本体にのせる。

- ジュースボトル部をのせるときの向きは決まっていません。



4 真空アームを下ろし、手のひらでしっかりと押します。

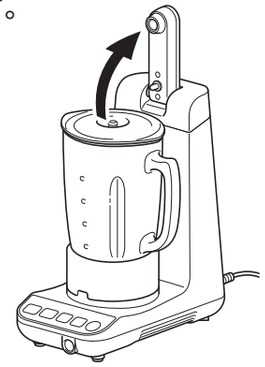
- カチッと音がしてフタに真空アームがセットされます。

本体からの取り外しかた

1 電源が切れている（電源ボタンが点灯していない）ことを確認する。

2 解除ボタンを押して真空アームをフタから外す。

3 真空アームを立ててから各ボトル部を取り外す。



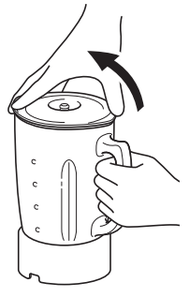
組み立てかた・外しかた

各フタ部の外しかた

ミキサーボトルフタ部

1 ミキサーボトル部をテーブルの上などの安定したところに置く。

2 ミキサーボトルをしっかりと押さえながらフタを外す。



ジュースボトルフタ部

1 ジュースボトル部をテーブルの上などの安定したところに置く。

2 フタバルブの突起部に指の腹をかけてフタバルブをめくり、中に空気を入れる。

3 ジュースボトルをしっかりと押さえながらフタを外す。

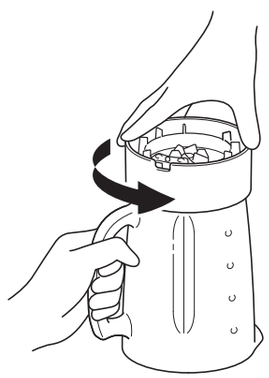
ご注意

- ボトル部をしっかりと押さえて外す。
  真空機能を使うと、ボトル内が減圧されてフタが外しにくくなります。
  フタを外す際は、中身をこぼさないよう注意してください。

ミキサーボトル部・各フタ部の部品の外しかた

ミキサーボトル部

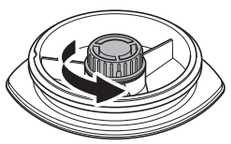
①ボトル台を図の矢印の方向に回して取り外す。



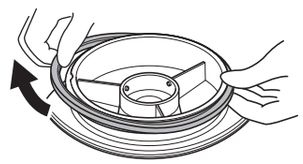
②ボトル台からミキサーボトルパッキンを外す。

フタ部

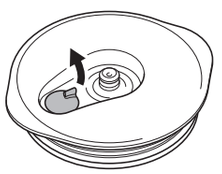
①インナーキャップを図の矢印方向に回して取り外し、インナーキャップパッキンを外す。



②各フタパッキンを引っ張りながら外す。



③フタバルブの突起部に指の腹をかけ、縁からめくるようにして引き抜く。



使いかた

初めてお使いになるときやしばらく使わなかったときは、ご使用前に本体以外の部品を洗ってからお使いください（16ページ参照）

使えない材料（禁止材料）

本製品はフードプロセッサーと違い、材料を細かくする、水分の少ないものをまぜる・こねるといった用途には使えません。

★使えない材料

40℃以上の材料／市販の氷／肉／魚類／食材でないもの／粉もの／
固いもの（乾燥大豆・穀類・煮干しやかつお節などの乾物・ドライフルーツ）など／
ねばりけの強いもの・水分の少ないもの（とろろいも・ゆでたジャガイモ・ゆでたカボチャ・ゆでた大豆）など

※使用する材料についてご不明なときは「テスコムお客様ご相談窓口」にご相談ください。（18ページ参照）

下ごしらえ

2cm角の大きさに切ります。

★くだもの

皮の厚いものは、皮をむきます。芯・種を取ります。

★かんきつ類

皮をむき小房に分けます。

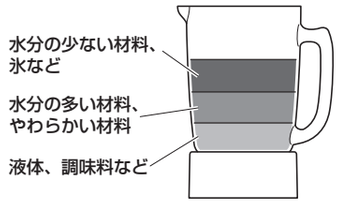
★にんじんなどの固いもの

厚さ2～3mmにスライスします。

★ほうれん草などの葉もの

茎を切り落とし、葉の部分だけを使います。

ボトルには水分を最初に入れ、水分の多い材料から少ない材料の順に入れます。



- 材料が浸るくらいの水分が入っていないときは、最後に液体を足してください。
- 液体を加えた材料が、ミキサーボトルの最少目盛以上、最大目盛以下になるようにしてください。

※付属のレシピブックのメニューは、分量どおりで作れるよう水分量が調整されています。必ず記載された分量を守ってください。（最大量まで増やして調理することはできません）

ミキサー機能の使いかた

ご注意

- **定格時間を守って使用する。4分使用したら2分以上休ませ、運転時間の合計が8分を超えないようにする。**
- **ミキサーボトルに入れたまま保存しない。できるだけ早めに飲みきるか、ジュースボトルに移して冷蔵保存してください。**

1 7ページの手順に従ってミキサーボトル部を組み立て、材料を入れる。

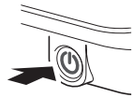
- **必ず材料が浸るくらいの水分を入れてください。**
- 一度に使える氷は、家庭用製氷皿の氷6個までです。
- 必ずミキサーボトルの最少目盛以上、最大目盛以下の材料で作ってください。

2 フタをして本体に取り付ける。（7・9ページ参照）

- **真空機能を使わないときも、真空アームをセットしてください。**

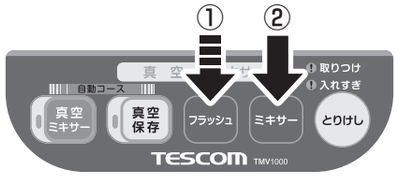
3 電源プラグをコンセントに差し込み、電源ボタンを押して電源を入れる。

- 電源ボタンが点灯します。



4 ①フラッシュボタンを1回1秒くらいの長さで何度か押す。②材料が混ざり始めたらミキサーボタンを押す。

- 運転中、ミキサーランプが点滅します。



5 お好みの状態になったら、とりけしボタンを押す。

- とりけしボタンを押さなくても、安全のため1分後に運転が止まります。

6 回転が完全に止まってから電源ボタンを押して電源を切る。ミキサーボトル部を本体から外す。（9ページ参照）

7 続けて使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く。

- 続けてミキサーボトルを使うときは、インナーキャップのお手入れをしてから使ってください。（16ページ参照）

初めてお使いになるときやしばらく使わなかったときは、ご使用前に本体以外の部品を洗ってからお使いください。（16ページ参照）

真空ミキサー機能の使いかた

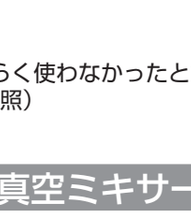
ミキサーボトル内を真空※にして酸化を抑えながら、ジュースなどを作ります。
ボトル内減圧→フラッシュ（3回）→ミキサー運転（1分間）を自動でおこないます。

ご注意

- **定格時間を守って使用する。**
  4回続けて使用したら2分以上休ませ、運転回数が合計8回を超えないようにする。
- **ミキサー機能と併用するときは、必ず真空ミキサー機能→ミキサー機能の順で使う。**
  故障を防ぐため、フラッシュボタン・ミキサーボタンの後に真空ミキサーボタンを押しても、動作しない構造になっています。
- **ミキサーボトルに入れたまま保存しない。**
  できるだけ早めに飲みきるか、ジュースボトルに移して冷蔵保存してください。

1 7ページの手順に従ってミキサーボトル部を組み立て、材料を入れる。

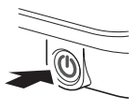
- **必ず材料が浸るくらいの水分を入れてください。**
- 一度に使える氷は、家庭用製氷皿の氷6個までです。
- 必ずミキサーボトルの最少目盛以上、最大目盛以下の材料で作ってください。



2 フタをして本体に取り付ける。（7・9ページ参照）

3 電源プラグをコンセントに差し込み、電源ボタンを押して電源を入れる。

- 電源ボタンが点灯します。



4 真空ミキサーボタンを押す。

- 真空ランプが点滅します。
  ミキサーの回転が始まると真空ランプが点灯に変わり、ミキサーランプが点滅します。
- 途中で運転を止めるときは。とりけしボタンを押してください。

5 「ピーピーピー」と音が鳴り回転が完全に止まったら、電源ボタンを押して電源を切る。ミキサーボトル部を本体から外す。（9ページ参照）

- お好みにより、さらに運転したいときは、電源を切らずに12ページの手順4～6に従ってください。

6 続けて使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く。

- 続けてミキサーボトルを使うときは、インナーキャップのお手入れをしてから使ってください。（16ページ参照）

真空保存機能の使いかた

ミキサーボトル内を真空※にして、作ったジュースなどを保存します。酸化を抑えて新鮮さを維持できます。（滅菌作用はありません）

ご注意

- **定格時間を守って使用する。**
  3回続けて使用したら、3分以上休ませる。
  真空ミキサー機能→真空保存機能と続けて使うときは、4回続けて使用したら2分以上休ませる。
- **本体に取り付けるとき、ジュースボトルの中身がフタの内側につかないようにする。**
  不具合が生じる恐れがあります。
- **真空ミキサー機能で作ったジュース・付属のレシピブック掲載のスープ以外を真空保存しない。**
  故障する恐れがあります。
- **ジュースボトルで保存するときは、必ず冷蔵庫で保存する。**

1 8ページの手順に従ってジュースボトル部を組み立て、ジュースなどを入れる。

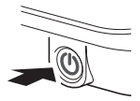
- 最大目盛を超える量を入れないでください。
- 40℃以上のものを入れないでください。
- ゆっくり注ぎ、泡立った部分はできるだけ入れないようにしてください。

2 フタをして本体に取り付ける。（8～9ページ参照）

- ジュースボトル部を振ったり傾けたりしないでください。

3 電源プラグをコンセントに差し込み、電源ボタンを押して電源を入れる。

- 電源ボタンが点灯します。



4 真空保存ボタンを押す。

- 真空ランプが点滅します。
- 途中で運転を止めるときは。とりけしボタンを押してください。

5 「ピーピーピー」と音が鳴ったら、電源ボタンを押して電源を切る。ジュースボトル部を本体から外す。（9ページ参照）

6 続けて使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く。

7 ボトルごと冷蔵庫に入れて保存する。

- ジュースボトルは立てた状態で保存してください。
- フタを外すときは、10ページの手順に従ってください。

※真空：大気圧より低い圧力の状態。

氷の砕きかた

使いかたの基本手順・定格時間は、12ページ「ミキサー機能の使いかた」に従ってください。

1 ミキサーボトルに角氷を入れてセットする。

- 必ず家庭用製氷皿の角氷を使ってください。
- 一度に砕ける氷は、角氷10個までです。
- ミキサーボトルの水気はよく拭き取ってください。

2 フラッシュボタンを1回1秒くらいの長さで何度か押し、お好みの状態になるまで氷を砕く。

エラーお知らせについて

警告音が鳴ってエラーお知らせランプが点いたときは、点滅ランプを確認し、とりけしボタンを押してエラーを解除してください。電源を切って電源プラグを抜き、各ボトル部を本体から外して（9ページ参照）下記の方法で対処してください。

点灯ランプ	原　因	対処のしかた
取りつけランプが点滅	●各ボトル部が正しくセットされていない。 ●各フタ部が正しく組み立てられていない。 ●ミキサーボトル部が正しく組み立てられていない。	●フタをしっかりとはめて「本体への取り付けかた」（9ページ参照）の手順でセットしなおす。 ●各フタ部を組み立てなおす。（7～8ページ参照） ●ミキサーボトルパッキンを取り付けてあるか、安全スイッチピンのまわりに食材がつまっていないか確認する。
入れすぎランプが点滅	●最大目盛を超えた量の材料が入っている。	●ミキサーボトルの最大目盛以下に材料を減らしてセットしなおす。
	●材料が大きすぎたり、ねばりけが強いなど、混ぜにくい状態になっている。	●材料を細かくする。 ●使えない材料を入れない。（11ページ参照） ●材料が浸るくらいの液体を入れる。

上記の方法でも直らないときは、弊社「お客様ご相談窓口」にご相談ください。（18ページ参照）

ご注意

- 必ず各ボトル部を本体から外して対処する。故障・事故の恐れがあります。
- 材料を減らすとき、ミキサーボトルに手を入れない。けがをする恐れがあります。

お手入れのしかた

必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお手入れをしてください。

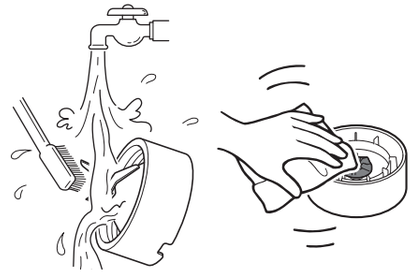
お手入れをする前に

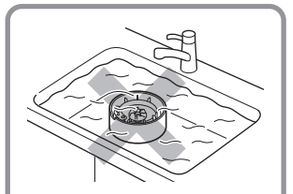
①ミキサーボトルのお手入れをする前に、40℃以下のぬるま湯をボトル1/3くらいまで入れて台所用洗剤を数滴加え、12ページの手順で数秒間動作させる。
②部品ごとに分けてからお手入れをする。（10ページ参照）

ボトル台・インナーキャップ・逆止弁

①付属のヘラつきブラシを使って、水かぬるま湯（40℃以下）でよく洗い流す。
ボトル台裏面は防水ではないので、よくしぼった布で汚れを拭き取る。

- 安全スイッチピンのまわりは、こまめにお手入れしてください。食べ物などがつまると、正常に動作しなくなります。





ボトル台裏面に直接水をかけたり、ボトル台のつけ置き洗いをしないでください。故障の恐れがあります。

②水分を拭き取り、十分に乾燥させる。

各ボトル・各フタ・各パッキン

①スポンジに中性洗剤をつけて洗い、水かぬるま湯（40℃以下）でよくすすぐ。
②水分を拭き取り、十分に乾燥させてから各部を組み立てる。（7・8ページ参照）

本　体

やわらかい布を「石ケン水」や「水で薄めた中性洗剤」に浸し、よくしぼってからよごれなどを拭き取る。

本体の接続部には洗剤を使わず、よくしぼった布で水拭きしてください。

お手入れの後は、十分に乾燥させてからミキサーボトル部を本体にセットし（9ページ参照）、直射日光の当たらない通気性の良い場所で保管する。

ご注意

- ベンジン・シンナー・金属たわし・磨き粉・化学ぞうきんをよごれ落としとして使わない。
- 食器洗い乾燥機や食器乾燥機は使わない。
- カッターには直接触れない。
- カッターはボトル台から分解しない。
- パッキンなどを紛失しないように注意する。
- ミキサーボトルはガラス製なので、取り扱いは十分注意する。

故障かな？と思ったら

下記のことをお確かめになり、それでも調子が悪いときはただちにご使用を中止し、お買い上げの販売店、または弊社「お客様ご相談窓口」にご相談ください。（18ページ参照）

こんなときは	考えられる原因	処置の方法
ボタンを押しても動かない。 運転が止まった。 （エラーお知らせランプが点滅している。）		●15ページの手順に従って対処してください。 対処してもエラーが出続ける場合は、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。（18ページ参照）
ボタンを押しても動かない。 運転が止まった。 （電源ランプが点滅している。）	●氷がはさまっている。	●はさまった氷を取り除く。
	●定格時間を超えて運転している。 ●温度上昇により安全装置が働いた。	●30分以上休ませてからご使用ください。
真空ミキサーボタンを押しても動かない。	●フラッシュボタン・ミキサーボタンでかくはんした後に、真空ミキサーボタンを押した。	●ミキサー機能（12ページ参照）でジュースを作ってください。 先にかくはんした材料で真空ジュースは作れません。
電源が入らない。	●電源プラグが抜けている。	●電源プラグをコンセントに差し込む。
水がもれる。	●ミキサーボトルとボトル台が正しくしめつけられていないか、しめつけが足りない。 ●パッキンが正しく取り付けられていない。	●確実に止まるまでしめつける。 ●もう一度分解して組み立てなおす。 ●7ページ参照。
煙が出る。 コードがねじれて戻らなくなった。		ただちに使用を中止し、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。（18ページ参照）

仕様

品　　名	真空ジュースミキサー	質　　量	本体：2.1kg ミキサーボトルとボトル台：約1.4kg ジュースボトル：280g
品　　番	TMV1000		
電　　源	AC100V　50/60Hz		
消費電力	290W	寸　　法	高さ300×幅150×奥行き300（mm）
回　転　数	9700回転/分	コード長さ	1.2m
定　　格	ミキサー機能：4分使用・2分休止のくり返し使用で合計8分まで 真空ミキサー機能：4回使用・2分休止のくり返し使用で合計8回まで 真空保存機能：3回使用・3分休止のくり返し		
ボトル容量	ミキサーボトル：最大780ml　最少300ml ジュースボトル：最大780ml		

アフターサービス

1.保証書について ―――― 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

この取扱説明書には裏面に商品の保証書が付いています。保証書はお買い上げ販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

2.修理を依頼されるとき

●保証期間中は商品に保証書を添えてお買い上げ販売店にご持参ください。保証書の記載内容にそって修理いたします。
●保証期間が過ぎているときはお買い上げ販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3.補修用性能部品の保有期間

当社では、この商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は製造打ち切り後6年としております。

4.ご使用中にふだんと変わった状態になったとき

ただちにご使用を中止し、お買い上げ販売店に点検・修理をご依頼ください。お客様ご自身での分解修理は危険です。（修理には特殊な技術が必要です。）

5.アフターサービスについてご不明の点があるとき

お買い上げ販売店にお問い合わせください。
●ご転居により、お買い上げ販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、事前に販売店にご相談ください。
●ご贈答品などで、お買い上げ販売店のアフターサービスを受けられない場合は、下記の「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。

テスコムお客様ご相談窓口　受付時間：平日　9時～17時

●部品・修理についてのお問い合わせ　フリーコール 携帯・PHS OK　**0120-343-122**

●商品・お取り扱い・その他のお問い合わせ　フリーコール 携帯・PHS OK　**0120-106-018**

〒390-0821 長野県松本市筑摩4－1－20　FAX　0263-25-0808

株式会社 テスコム　〒141-0031　東京都品川区西五反田5－5－7

愛情点検

●長年ご使用の真空ジュースミキサーの点検を！

こんな症状はありませんか	症状	ご使用中止	事故防止のため、電源プラグを抜き、販売店に点検・修理をご相談ください。
	●電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。 ●こげくさい臭いがする。 ●製品の一部に割れ・ゆるみ等がある。 ●その他、異常や故障がある。		

〈無料修理規定〉

お買い上げ日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき、お買い上げ販売店が無料修理いたしますので商品と本保証書をご持参・ご提示の上、お買い上げ販売店にご依頼ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
   ①使用上の誤り、改造や不当な修理による故障または損傷。
   ②お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送などによる故障または損傷。
   ③火災、地震、水害、落雷などの天災ならびに公害や異常電圧などの外部要因による故障または損傷。
   ④業務用としての使用、車両、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
   ⑤本書の提示がない場合。
   ⑥本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
2. ご転居の場合は事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
3. ご贈答品などで本書に記入してあるお買い上げ販売店に修理を依頼されることができない場合は、「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

●修理メモ

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げ販売店または「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。
保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは「アフターサービス」の項をご覧ください。
当製品の保証書にご記入いただいた、お客様の個人情報は、修理・交換品の発送のみに使用し、それ以外の目的で使用したり、第三者に提供する事は一切ございません。

保　証　書　持込修理

品　番	TMV1000	保証期間	お買い上げ年月日より**1年間**	保証対象	本体

★お客様	★販売店
ご芳名　　様	★お買い上げ年月日　　年　月　日
ご住所（〒　　）	住所・店名
お電話	電話

株式会社 テスコム　www.tescom-japan.co.jp
本社／東京都品川区西五反田5−5−7　工場／長野県松本市筑摩4−1−20